

教師を目指すみなさんへ

香川大学教育学部

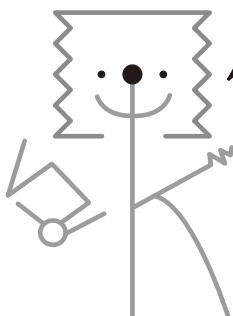
みなさんは「素敵な先生になりたい!」という夢や願いを持っていると思います。香川大学教育学部では、大学の授業や課外活動、学外での教育関連活動（スクールボランティアなど）、教育実習などを総合的に関連づけながら教員養成を行います。

現在、教師を取り巻く環境は厳しい状況にあります。学校教育には、家庭や地域の教育力低下など様々な問題に起因する困難さがある一方、家庭・地域・社会から様々な期待が寄せられています。

教師になることは、容易なことではありません。教師を目指す誰もが、その過程で多くの苦難に遭遇します。様々な学習と体験を積み重ねる中で、それら多くの苦難に直面しつつも、みなさんの「教師になりたい!」という強い意志を支えに、その都度、自分の姿を真摯に見つめ振り返り、教師として必要な資質能力を身につけていくことを、切に願っています。

教師に必要な資質能力は多様にあります。重要なことは、それらをトータルに身につけた「一人の人間としての総合力」です。足りない要素を付け足していくだけでは不十分です。大学での授業、学生相互の活動、教育実習等の教育関係者や子どもたちと関わる活動、地域社会での活動などの経験や、その活動から得られる「気づき」「思い」「考え」、そして様々な知識や技能などを総合して、教師として必要な資質能力を磨いていくのです。それは、様々な関係・状況・文脈の中で、みなさん一人ひとりが主体的に自身を磨き育てていく営みと言えるかもしれません。

香川大学教育学部では、教員養成の機会をこのように幅広い視野で捉えながら、教師を目指すみなさんの指導と支援を行います。



教師に求められる5つの資質能力

（１）教職への使命感

教育の困難が様々に語られる現在、教職への強い使命感を持つことの重要性が指摘されています。それは、問題を抱える子どもを前にしたときに「何かしてあげたい」と願う心であり、そのために自らが学び続けようとする姿勢であり、周囲の人たちとともに教育の可能性を開いていこうとする態度でもあります。当然、教師としての倫理観や社会人としての基本的な心構えが求められます。さらに、教育をめぐる課題やその解決策についての知的な基盤も求められるでしょう。

（２）対人能力

教育は自分一人ですることのできるものではありません。教師と子どもの関係に限らず、他の教師や保護者、地域の人たちなど、多様な人々と幅広いコミュニケーションをとり、連携・協働できなければなりません。その意味でみなさんは、様々な協働の体験を積む必要があるでしょう。

（３）子ども理解

教師にとって子ども理解は必須の要件です。子どもの様々な発達段階やプロセスについての知的な理解、各学年段階における子どもの思考力や言語力に関わる理解、実際の関わりを通じた体験的子ども理解などは、例えば授業を構想する段階においても重要な要素です。そうした一般的な子ども理解に加えて、個別具体的に「子どものことを分かってあげること」は、教師にとってかなり高度な能力です。子どもの抱える固有の課題を読み取り、適切な対処を生み出すには、例えば教育相談や特別支援などの専門的知識や、幅広い経験知、そして教師のすぐれた感受性が必要とされるでしょう。そうした力量を育むには、多様な子どもたちとの交流体験を積んでいく必要があります。

（４）指導力

まずみなさんに求められるのは学習・保育・保健室指導に関わる基本的な理解と実践力です。そこには、教育内容（教科内容・保育内容・健康課題への支援内容など）と、教育方法（系統的学習と経験的学習などの基本的考え方からICT機器の活用などまで）に関する基本的知識と、その汎用的活用力が欠かせません。さらに授業を構想する力、授業を実践する力、授業を省察する力、加えて学習集団を組織する力、学級の様々なトラブルを解決する力、子どもを褒めたり叱ったり個別指導する力など、幅広い指導力が求められます。その意味でみなさんは、指導的立場に立つ体験を積んでいく必要があるでしょう。

（５）探究心

教師は、子どもたちがおのずから「あの人に学びたい」「あの人から教わりたい」と思うような、高度な文化性・学術性を身につけておかねばなりません。これは教育関係が成り立つ根本的な要素です。探究心とは、様々な専門的知見や学芸、またその汎用的な活用力を追究しようとする意欲や態度です。

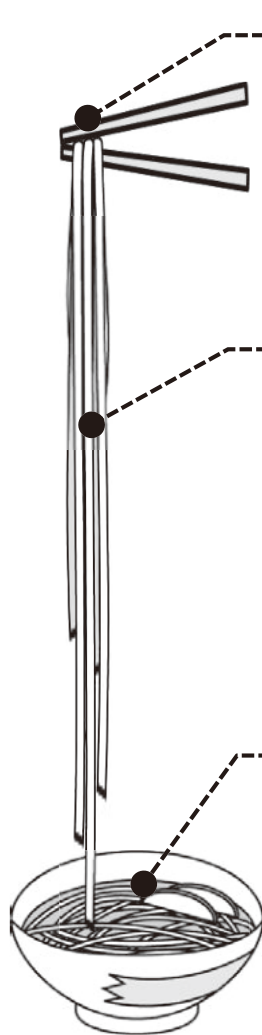
大学での学びを通して、実践力の基礎を身に付けよう！

あなたのめざす理想的な教員像とは—— まずは、若さと情熱です。そして、明るさを大切にしてほしい。…しかし、それだけでは十分とは言えません。

下に示す“さぬきうどん型教員”には、めざす理想的な教員像についてみなさんに具体的にイメージを持ってもらい、大学での学びを通して実践力の基礎を身につけてほしいという願いが込められています。

■学校現場で活躍する初任者教員

～ “さぬきうどん型教員” をめざそう！～



① 自分を引き上げようとしてくれている、先輩・同僚・子ども・保護者などの声に、謙虚に耳を傾け、自分の成長につなげよう。

謙虚に学ぶ姿勢
 気を付けて！自信過剰なタイプ。先輩教員がアドバイスしても、「私はできています！」「わかっています！」「やっています！」と、聞き入れようとしない。そのくせ、様々なことができておらず、学校全体の足並みを狂わせる…こんなことがないように。

② 強いコシと弾力は、さぬきうどんの麺の^{かなめ}要。
 心身のたくましさ、粘り強さが、大切です。

たくましく 粘り強く歩む力
 初めから理想どおりには うまくいかないのが当たり前。子どもとうまくかわることができない、保護者からの厳しい要望、同僚の先生からちょっと厳しい指導…こうしたことで「自分はダメだ…」と感じてしまう。上手くできなくても、一歩ずつ努力しようとするたくましさが欲しい。「いい先生になりたい！」「仕事ができるようになりたい！」そんな初心を忘れずに、粘り強く歩む力を身につけよう。
 せかず あせらず ひたすらに 一歩 一歩 もう一歩

③ 麺だけでは、逸品のさぬきうどんとは言えません。だしや具材など、いろんな味や役割が、力を一に・志を一にしたとき、逸品^{いっぴん}が生まれます。

組織の一員としての協調性
 協力するのが苦手な人、特に要注意。初任者には、できるだけ仕事を回さず、授業や学級経営に専念できるように、先輩は配慮してくれているはず。それを当然のことと勘違いし、周囲の多様なスタッフなどと協力する姿勢を示さない。学年団の行事などでは、自ら積極的に仕事を見つけて、先輩に「お手伝いします！」と進んで言えるようになろう。
 職場で気持ちよく過ごすためにも、周囲の人たちとの協力は不可欠です。

◎大学での学びにおいて、3つのことを心がけよう！

- ①相手の言うことに謙虚にしっかり耳を傾ける！ まさに傾聴。(共感性・受容性)
- ②自分の主張を安易に捨てず、仲間と折り合いをつけて成果を上げようとする！
和をもって同じず。(問題解決力)
- ③集団の中に明るく前向きな気分を作ろうと心がけ、積極的・協働的に参加する！
ともに行動。(協働的参加)

教師に求められる5つの資質能力 学びの履歴

香川大学教育学部の考える「教師に求められる5つの資質能力」を身につけるために、大学で単位を修得することに加えて、どのような体験が必要なのか、どのような知識を身につければよいのか、具体的な内容は以下のとおりです。

社会に出るまでの4年間で身につけなければならないことはたくさんあります。これらの項目を参考にし、入学時から卒業までの4年間、見通しを立てながら主体的・積極的に学びましょう。

以下は、自己評価のためのチェック表です。下記①～⑥の時点で自己評価を行いましょう。

- ① 1年次：「教職概論」終了後
 ② 2年次：「教育実践プレ演習」「保育実習」終了後
 ③ 3年次：「事前指導」終了後
 ④ 3年次：「教育実習・事後指導」終了後
 ⑤ 4年次：「教職実践演習」前
 ⑥ 4年次：「教職実践演習」終了後

評価は、1～4を記入しましょう。（半角数字）
 4：あてはまる
 3：どちらかといえば あてはまる
 2：どちらかといえば あてはまらない
 1：あてはまらない

評価内容		評価の観点						①	②	③	④	⑤	⑥
教職の使命	教職の理解	求められる教師像についての理解とそれに向けた自らの課題の把握											
		どのような教師が求められているか理解していますか。 そのために何をしたらよい目標を持っていますか。											
		教職の意義とその内容についての理解											
		教育の役割とは何か、教師の役割とは何か、自分なりの考えを持っていますか。 様々な教育論・教師論について学べていますか。											
	教師としての自覚と心構え	子どもの安全や健康管理に十分配慮した教育活動の展開											
		子どもの安全管理や健康管理に必要な内容を理解していますか。 子どもと接するときに常に意識して行動していますか。											
		教師としての倫理観と遵守すべき内容（守秘義務・法令の遵守等）についての理解											
		教師として遵守しなければならない基本的な法律や倫理規定（信用失墜行為等）を理解していますか。 教師としての倫理観を持っていますか。											
		教育への情熱を持ち、教師としての資質能力を高め、自ら成長しようとする姿勢											
		自己を客観的に振り返ることができますか。常に学び続けようとする向上心がありますか。 「教師になりたい」という強い意志を持っていますか。											
	教育問題に対する関心	教育改革の動向についての理解とそれに基づく教育課題の探究											
		現代の教育課題について問題意識を持ち、書籍等を読んで探究していますか。 現代の教育改革の動向を理解していますか。											
対人能力	コミュニケーション能力	他者との共感的なコミュニケーション											
		友人と良い関係ができていますか。 自分たちと異なる世代の人たちとも積極的にコミュニケーションを取ることができますか。											
		異なる考えを取りまとめて共通理解を図ろうとする姿勢											
		話し合いの時に積極的に意見を述べていますか。 グループリーダーとして様々な意見をまとめることができますか。 自分とは異なる意見を受け入れることができますか。											
	協働性	集団の一員としての自覚を持ち、協力して自らの役割を果たそうとする姿勢											
		他人と協力しながら活動できますか。 自分の役割を責任を持って最後までやり遂げていますか。											
		円滑に仕事を遂行するための方法の理解と実践 （段取り、役割分担、適切な指示、他者への気配り等）											
		計画性のある活動を心掛けていますか。 リーダーとして企画及び運営することができますか。 人の良いところを見つけ、伝えることができますか。											
		学内外の人々との良好な関係を築こうとする姿勢											
		サークル・ボランティア・アルバイトなど、地域や社会で多くの人と関わることのできる場を積極的に求めていますか。											
	社会人としての基本	社会人としての基本的マナー（挨拶、約束の履行、身だしなみ等）の習得や、 場・状況をわきまえた言動の取り方											
		遅刻欠席はありませんか。自分から挨拶ができていますか。 場をわきまえた発言、態度、服装など社会人としてのマナーが守られていますか。											

評価内容		評価の観点	①	②	③	④	⑤	⑥
子ども理解	子ども理解のための知識や技能	子ども理解の意義とそのための方法に関する知識や技能の習得						
		子ども（幼児・児童・生徒）の発達段階についての基礎的な知識がありますか。 学校種・各学年段階の子どもの思考力や言語力の発達状況について理解していますか。 子ども理解のための方法について学んでいますか。						
		社会状況や時代の変化に伴って生じる子どもの変化を、進んで捉えようとする姿勢（生徒指導、特別支援教育、幼小中連携等）						
		不登校、いじめ、児童虐待、発達障害、小1プロブレム・中1ギャップなどの知識がありますか。 ニュースや書籍などから情報を得ていますか。						
	子どもへの公平かつ受容的対応	子どもの言動の背後にある思いを理解するなど子どもの立場に立った受容的姿勢						
		子どものことばに常に耳を傾けていますか。 子どもの言外の行動を読み取り、理解しようとする姿勢がありますか。 子どもの立場に立ったカウンセリングマインドについて理解し、日頃から心掛けていますか。						
		一人一人の子どもの実態把握とその実態に即した適切な関わり方（特性、状況、家庭環境、生育歴等）						
		常に子どもの行動や表情、態度を良く見えていますか。 様々なタイプの子どもに対して伝わりやすいように説明を工夫できますか。 子どもの特性を把握しながら効果的に指導しようとする手だてを知っていますか。						
指導力	指導内容の研究	学習指導要領・幼稚園教育要領等に基づいた各教科等のねらいや内容等に関する理解（題材観）						
		学習指導要領・幼稚園教育要領等の基本的な内容を理解していますか。 専門とする（所属教育コースの）学校園種・専門教科等の基礎的な内容を理解していますか。						
		各教科等の指導内容に関する子どもの実態把握についての理解と実践（子ども観）						
		指導内容に関わる子どもの既習内容や既習経験について、実態を把握する方法を理解していますか。						
		各教科等の指導のための教材研究についての理解と実践（指導観）						
		各教科等の基本的な単元（教材）の指導内容について理解していますか。 その内容の指導に向け教材研究に取り組めますか。						
	指導技術の習得	指導案づくりの基本的習得や子どもの実態に応じた学習の流れの構想						
		単元のねらいから本時の学習課題を立てることができますか。 学習内容及び子どもの実態に応じた授業/保育の流れを構想し、指導案作成ができますか。						
		指導技術の基本的な内容の理解と実践（板書、発問、話し方等）						
		子どもの反応を予想して効果的な発問を考えることができますか。 授業の流れに応じた効果的な板書計画を立てることができますか。						
		子どもの関心意欲を大切に、子どもが主体的に学ぶための指導方法についての習得						
		子どもの思考を促す効果的な資料や教材を用意できますか。 子どもを学ぶ主体として位置付ける授業/保育の方法について理解していますか。						
		自らの授業/保育改善につながる模擬授業/保育や授業/保育討議会への参加						
		授業/保育記録作成についての知識と技術がありますか。 模擬授業/保育において課題を見つけ指導案の改善ができますか。 授業/保育討議で積極的に発言できますか。						
	学びの基盤づくり	子どもの実態や状況を把握した規律ある学級経営の内容や実践についての理解						
		学級経営に関する基本的知識を身につけていますか。 学級経営を進めるための実践事例（座席の配慮・班活動・係活動など）について理解していますか。 自分の目指す学級像がありますか。						
		学習を支える生徒指導、教育相談、特別支援教育等に関する内容と実践についての理解						
		生徒指導、教育相談、特別支援教育に関する基本的知識を身につけていますか。 実践事例（学習/生活規律、なかまづくり、き然とした対応、他の教員との連携など）について理解していますか。						
		学習環境に関する内容と実践についての理解						
		学習環境づくりの基本的知識（学習規律、教室掲示、清掃活動等の教室経営）を身につけていますか。 実践事例について理解していますか。						
探究心		教育に関する専門性を身に付け、自らを高めていこうとする意欲						
		教育について学ぶことは楽しいですか。 深く極めたいと感じる学問や学芸がありますか。 教育内容や教科の専門分野、スポーツ・文芸など、自分が打ち込めるものを持っていますか。						
		常に課題意識を持ち、その解決に向けて探究しようとする姿勢						
		世の中の様々な問題に関心がありますか。 自分自身で物事を考える習慣がありますか。 客観的に物事を考える習慣がありますか。						
		子どもたちの学びを豊かにすることにつながる高度な文化性・学術性を身に付けようとする姿勢						
		専門的な知識・技能の向上のために、自ら課題を持ち努力していますか。 長期的な視野で自分を磨こうとしていますか。						

(1年次「教職概論」終了後)

私の学びの体験履歴(1年次)

幼・小・中 コース (該当するものに○)	組	学籍番号	名 前
--	---	------	-----

↑コピーして提出が求められる際、記入が必要です。↑

教職の使命 ・教職の理解 ・教師としての自覚と心構え ・教育問題に対する関心	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
対人能力 ・コミュニケーション能力 ・協働性 ・社会人としての基本	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
子ども理解 ・子ども理解のための知識や技能 ・子どもへの公平かつ受容的対応	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
指 導 力 ・指導内容の研究 ・指導技術の習得 ・学びの基盤づくり	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
探 究 心	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）

【総括 A】(1)「1年次の自分」の現状は…

【総括 B】(3)教員になった自分が活かせる・誇れる“自分らしさ”について、「1年次の自分」の現状は…（1年次に意識して取り組んだ、自己アピールできる「努力・こだわり・特技」etc.）

1 年次に自分が体験したこと (大学の授業、附属学校園での演習、学外で子どもや先生・保護者・地域の方々等と関わる活動など) を振り返り、

①各項目の自分の資質能力に強く影響を受けた体験・一場面を具体的に記述した上で、

②そのような体験をふまえ「自分自身の現状」をどのように捉えているかを記述しましょう。

(当該年度に「該当する経験が無い」「自分の変化が無い」と捉えている場合には、その旨を記載しましょう。)

7

②自分自身の現状	教職の使命 ・教職の理解 ・教師としての自覚と心構え ・教育問題に対する関心
②自分自身の現状	対人能力 ・コミュニケーション能力 ・協働性 ・社会人としての基本
②自分自身の現状	子ども理解 ・子ども理解のための知識や技能 ・子どもへの公平かつ受容的対応
②自分自身の現状	指導力 ・指導内容の研究 ・指導技術の習得 ・学びの基盤づくり
②自分自身の現状	探究心

【総括 A】(2) 2 年次の課題・目標 (取り組みたいこと) は…

【総括 B】(4) 教員になった自分が活かせる・誇れる “自分らしさ” について、「2 年次の自分」の目標は… (2 年次に意識して取り組みたい！自己アピールに繋がる「努力・こだわり・特技」etc.)

(2年次「教育実践プレ演習」「保育実習」終了後)

私の学びの体験履歴(2年次)

幼・小・中 コース (該当するものに○)	領域	学籍番号	名 前
-------------------------	----	------	-----

↑コピーして提出が求められる際、記入が必要です。↑

教職の使命 ・教職の理解 ・教師としての自覚と心構え ・教育問題に対する関心	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
対人能力 ・コミュニケーション能力 ・協働性 ・社会人としての基本	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
子ども理解 ・子ども理解のための知識や技能 ・子どもへの公平かつ受容的対応	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
指 導 力 ・指導内容の研究 ・指導技術の習得 ・学びの基盤づくり	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
探 究 心	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）

【総括 A】(1)「2年次の自分」の現状は…

【総括 B】(3)教員になった自分が活かせる・誇れる“自分らしさ”について、「2年次の自分」の現状は…（2年次に意識して取り組んだ、自己アピールできる「努力・こだわり・特技」etc.）

2年次に自分が体験したこと(大学の授業、附属学校園/公立学校等での演習、学外で子どもや先生・保護者・地域の方々等と関わる活動など)を振り返り、

①各項目の自分の資質能力に強く影響を受けた体験・一場面を具体的に記述した上で、

②そのような体験をふまえ「自分自身の現状」をどのように捉えているかを記述しましょう。

(当該年度に「該当する経験が無い」「自分の変化が無い」と捉えている場合には、その旨を記載しましょう。)

②自分自身の現状	教職の使命 ・教職の理解 ・教師としての自覚と心構え ・教育問題に対する関心
②自分自身の現状	対人能力 ・コミュニケーション能力 ・協働性 ・社会人としての基本
②自分自身の現状	子ども理解 ・子ども理解のための知識や技能 ・子どもへの公平かつ受容的対応
②自分自身の現状	指導力 ・指導内容の研究 ・指導技術の習得 ・学びの基盤づくり
②自分自身の現状	探究心
【総括 A】 (2) 3年次の課題・目標(取り組みたいこと)は…	
【総括 B】 (4) 教員になった自分が活かせる・誇れる“自分らしさ”について、「3年次の自分」の目標は… (3年次に意識して取り組みたい! 自己アピールに繋がる「努力・こだわり・特技」etc.)	

(3年次「教育実習・事後指導」終了後)

私の学びの体験履歴(3年次)

幼・小・中 コース (該当するものに○)	領域	学籍番号	名 前
-------------------------	----	------	-----

↑コピーして提出が求められる際、記入が必要です。↑

教職の使命 ・教職の理解 ・教師としての自覚と心構え ・教育問題に対する関心	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
対人能力 ・コミュニケーション能力 ・協働性 ・社会人としての基本	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
子ども理解 ・子ども理解のための知識や技能 ・子どもへの公平かつ受容的対応	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
指 導 力 ・指導内容の研究 ・指導技術の習得 ・学びの基盤づくり	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
探 究 心	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）

【総括 A】(1)「3年次の自分」の現状は…

【総括 B】(3)教員になった自分が活かせる・誇れる“自分らしさ”について、「3年次の自分」の現状は…（3年次に意識して取り組んだ、自己アピールできる「努力・こだわり・特技」etc.）

3年次に自分が体験したこと(大学の授業、附属学校園/公立学校等での演習、学外で子どもや先生・保護者・地域の方々等と関わる活動など)を振り返り、

①各項目の自分の資質能力に強く影響を受けた体験・一場面を具体的に記述した上で、

②そのような体験をふまえ「自分自身の現状」をどのように捉えているかを記述しましょう。

(当該年度に「該当する経験が無い」「自分の変化が無い」と捉えている場合には、その旨を記載しましょう。)

②自分自身の現状	教職の使命 ・教職の理解 ・教師としての自覚と心構え ・教育問題に対する関心
②自分自身の現状	対人能力 ・コミュニケーション能力 ・協働性 ・社会人としての基本
②自分自身の現状	子ども理解 ・子ども理解のための知識や技能 ・子どもへの公平かつ受容的対応
②自分自身の現状	指導力 ・指導内容の研究 ・指導技術の習得 ・学びの基盤づくり
②自分自身の現状	探究心
【総括 A】 (2) 4 年次の課題・目標（取り組みたいこと）は…	
【総括 B】 (4) 教員になった自分が活かせる・誇れる“自分らしさ”について、「4 年次の自分」の目標は…（4 年次に意識して取り組みたい！自己アピールに繋がる「努力・こだわり・特技」 etc.）	

(4年次「教職実践演習」終了後)

私の学びの体験履歴(4年次)

幼・小・中 コース (該当するものに○)	領域	学籍番号	名 前
-------------------------	----	------	-----

↑コピーして提出が求められる際、記入が必要です。↑

教職の使命 ・教職の理解 ・教師としての自覚と心構え ・教育問題に対する関心	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
対人能力 ・コミュニケーション能力 ・協働性 ・社会人としての基本	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
子ども理解 ・子ども理解のための知識や技能 ・子どもへの公平かつ受容的対応	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
指 導 力 ・指導内容の研究 ・指導技術の習得 ・学びの基盤づくり	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）
探 究 心	①自分の資質能力に強く影響を受けた体験・出来事（強く影響を受け印象に残っている場面は…）

【総括 A】(1)「4年次の自分」の現状は…

【総括 B】(3)教員になった自分が活かせる・誇れる“自分らしさ”について、「4年次の自分」の現状は…（4年次に意識して取り組んだ、自己アピールできる「努力・こだわり・特技」etc.）

4年次に自分が体験したこと(大学の授業、附属学校園/公立学校等での演習、学外で子どもや先生・保護者・地域の方々等と関わる活動など)を振り返り、

①各項目の自分の資質能力に強く影響を受けた体験・一場面を具体的に記述した上で、

②そのような体験をふまえ「自分自身の現状」をどのように捉えているかを記述しましょう。

(当該年度に「該当する経験が無い」「自分の変化が無い」と捉えている場合には、その旨を記載しましょう。)

②自分自身の現状	教職の使命 ・教職の理解 ・教師としての自覚と心構え ・教育問題に対する関心
②自分自身の現状	対人能力 ・コミュニケーション能力 ・協働性 ・社会人としての基本
②自分自身の現状	子ども理解 ・子ども理解のための知識や技能 ・子どもへの公平かつ受容的対応
②自分自身の現状	指導力 ・指導内容の研究 ・指導技術の習得 ・学びの基盤づくり
②自分自身の現状	探究心
【総括 A】 (2) 今後の課題・将来計画と抱負(取り組みたいこと・決意表明)は…	
【総括 B】 (4) 教員になった自分が活かせる・誇れる“自分らしさ”について、今後の目標は…(今後、意識して取り組みたい! 自己アピールに繋がる「努力・こだわり・特技」etc.)	

【参考資料】「学習指導」のキーワード ～香川県教委 初任者研修資料から～

①「思考力」の育て方

●「考えること・思考」の分類

「記憶をたどる」：体験・考え方・知識などを思い出す etc.

「比較する」：同じところ／違いを明確にする 観点をはっきりして比べる etc.

「原因を探る」：原因と思われるものを多面的にあげる 因果を論理づける etc.

「構想を立てる」：テーマを明確にする 多面的想像 修正を重ねて練り上げる etc.

●学習と思考

学習は、一般的に二つのねらいをもつ。一つは、「その時間の学習内容を十分に理解すること」であり、もう一つは、「内容を理解していく過程で、見方や考え方、学び方を身につけること」である。後者は、ともすれば軽視されがちであるが、むしろ前者よりも重要である。

②望ましい学習指導案の条件

●学習指導要領のねらいを十分に研究した学習目標や学習内容であること

●児童生徒の意識に即した、学習指導過程が展開されていること

●教師の発問、助言や手だて等が柔軟にかつ計画的に組織されていること

●子どもの実態にあった活動が準備されていること

●子ども一人一人のよさを生かし、積極的な活動や思考を促すように

配慮がなされていること

●前時や次時の学習内容が明記され子どもの意識や学習の高まりが連続するもの 等

③発 問

●基本的性格：学習者の可能性を引き出し、それを伸ばし、発展させようとするために、学習に対して教師が出す「問い」である。従って、発問には答えが要求される。

●発問の分類

記憶発問（事実発問）～経験したこと、知っていること、覚えていることなどを問うもの。

思考発問（問題発問）～学習者が自分で推理し、判断していけるように、問題場面の原因を考えさせたり、選択させたりする問いをいう。

④助 言

●基本的性格：個人差の大きい各学習者に、個々の学習上のつまづきやポイントを理解させ、以降の主体的学習を援助するために教師が行なう「口添え」である。

●助言の分類：学習指導の展開で学習者の思考を方向づける場合によく使われる。

思考の枠を広げる助言、思考を限定する助言、思考を誘導する助言 etc.

⑤発言（考え）の取り上げ方（個の高まりと全体の高まりをめざして）

●発言を的確に評価する。

目的に合った考えであるか、考えの筋道に矛盾や飛躍はないか、具体性のある考えであるか、重要な要素が押さえられているか、根拠がしっかりしているか、等

●不完全な発言に対し、どこに戻って考えればよいかを助言する（フィードバック）

「どうしてその言葉を選んだのですか。」

「結論と理由を分けて説明してみてください。」 etc.

●発言者の考えを他の子どもたちの思考の材料にする（発言の教材化）

「〇〇さんは二つよいことを言いました。何と何でしょう。」

「〇〇さんが言っていることを簡単にいうとどうなるかな。」

「大事な考えですね。黒板に書いておきましょう。どう書けばいいかな。」

「〇〇さんからよい考えが出ていますが、だれか、どうしてそうなるか

説明してもらえますか。」

⑥板 書

●板書の役割

板書によって学習のめあてや方向をいつでも確認できる。

板書によって、思考・作業・練習などの仕方を視覚的に指示できる。

板書によって、学習の経過や結果を確認させることができる。

板書によって、学習を振り返り、評価しながら学習を進めることができる。

板書によって、学習内容の関連・構造を視覚的に示すことができる。

板書に、資料等を加えることによって、学習の素材を提示することができる。

板書は、学習の変化・深化に対応して、内容を加除することができ、学習を助けることができる。

板書は、筆順・グラフ・図などの書き方の順序や過程を示すことができ、理解を助けることができる。

板書は、子どもたちの意見・考え方などを記録して、全員で共有することができる。

●よい板書のために…

板書技能を深めるポイント：板書の量、文字の大きさ、字・図の書き方、チョークの使い方、板書のタイミング、板書と指導の連合、資料の併用 etc.

板書の生かし方：不完全な板書をして空白を考えさせる。

板書を消しながら学習の復習をする。 etc.

香川大学 教育実習 評価の観点（幼稚園版）

※附属幼稚園においては、より詳細な評価観点によって評価が行われます。

【教職への使命】

- (1) 教職の理解
 - 教職の意義・重要性（個人情報管理など含む）を理解し、使命感・責任感を自覚している。
 - 幼稚園教諭・保育者に求められる倫理観や道徳観を身に付けている。
- (2) 教職について学ぶ姿勢
 - 教育実習全般において、主体的にかつ謙虚に学ぶとする姿勢を身に付けている。
 - 子どもの状況を把握し、子どものよさや可能性を引き出すために、積極的に子どもと関わっている。

【対人能力】

- (3) コミュニケーション能力
 - 管理職をはじめとする教職員と十分なコミュニケーションをとることができる。
 - 明朗快活に子どもの状態に合わせたコミュニケーションをとることができる。（多様なアドバイス、適切なほめ方・叱り方など）
- (4) 協働性
 - 学校組織の一員（実習生間協働を含む）として、協力的態度で、多様な状況に対応できる。
 - 基本的な職務遂行能力を身に付けている。（時間の有効活用、期限内処理、要領・段取り、迅速さ・正確さ、など）
- (5) 社会人としての基本
 - 社会人また教師にふさわしい基本的マナー（服装・態度・言葉遣いや、礼儀作法、など）を身に付けている。

【子ども理解】

- (6) 子ども理解のための知識や技能
 - 子どもの成長や発達について深く理解している。
 - 温かい目をもって、子どもの姿を丁寧に観察し実態をとらえることができる。
- (7) 子どもへの公平かつ受容的対応
 - 子どもの言外の行動を読み取り、内面を理解しようとする姿勢を身に付けている。
 - 様々なタイプの子どもの公正に適応的に関わろうとする姿勢を身に付けている。

【指導力】

- (8) 学びの内容の研究
 - 幼稚園教育要領の内容を理解し、子どもの状況を踏まえた保育・指導の研究を遂行できる。
 - 子どもや学級に応じた望ましい経験や活動を選択し、効果的な保育・指導案を作成できる。
- (9) 保育・指導の技術の習得
 - 保育・指導案に沿って、子どもが遊び込める環境構成を整えることができる。
 - 子どもの姿に応じた援助や支援の方法など、基本的な指導技術を身に付けている。
- (10) 学びの基盤づくり
 - 子どもの基本的な生活習慣を培うための指導や支援について理解している。
 - 学級経営の重要性をふまえた多様な環境づくりについて理解している。

【探究心】

- (11) 授業・保育の実践の研究
 - 自己の授業・保育の実践を適切に振り返り、自己の指導力を高めようとする姿勢を身に付けている。
 - 他者の授業・保育の実践から効果的に学び、自己の指導力を高めようとする姿勢を身に付けている。
- (12) 専門的知識
 - 高い水準の専門知識と幅広い教養を備えている。
 - 専門知識を総合的な指導力へと高めようとする意欲がある。（園行事、他園実習等への活動参加）
 - 専門知識を教育実践に活用することができる。

香川大学 教育実習 評価の観点（小学校版）

※附属学校においては、より詳細な評価観点によって評価が行われます。

【教職への使命】

- (1) 教職の理解
 - 教職の意義・重要性（個人情報管理など含む）を理解し、使命感・責任感を自覚している。
 - 小学校教諭に求められる倫理観や道德観を身に付けている。
- (2) 教職について学ぶ姿勢
 - 教育実習全般において、主体的にかつ謙虚に学ぼうとする姿勢を身に付けている。
 - 子どもの状況を把握し、子どものよさや可能性を引き出すために、積極的に子どもと関わっている。

【対人能力】

- (3) コミュニケーション能力
 - 管理職をはじめとする教職員と十分なコミュニケーションをとることができる。
 - 豊かな教養を背景に、子どもと適切なコミュニケーションをとることができる。（多様なアドバイス、適切なほめ方・叱り方など）
- (4) 協働性
 - 学校組織の一員（実習生間協働を含む）として、協力的態度で、多様な状況に対応できる。
 - 基本的な職務遂行能力を身に付けている。（時間の有効活用、期限内処理、要領・段取り、迅速さ・正確さ、など）
- (5) 社会人としての基本
 - 社会人また教師にふさわしい基本的マナー（服装・態度・言葉遣いや、礼儀作法、など）を身に付けている。

【子ども理解】

- (6) 子ども理解のための知識や技能
 - 子どもの成長や発達について深く理解している。
 - 子どもの実態を把握する多様な方法を身に付けている。
- (7) 子どもへの公平かつ受容的対応
 - 子どもの言外の行動を読み取り、内面を理解しようとする姿勢を身に付けている。
 - 様々なタイプの子どものに適応した関わりを誠実にもとうとする姿勢を身に付けている。

【指導力】

- (8) 指導内容の研究
 - 学習指導要領の内容を理解し、子どもの状況を踏まえた教材研究を遂行できる。
 - 学習内容と方法を組み合わせて、効果的な学習指導案を作成できる。
- (9) 指導技術の習得
 - 適切な発問と応答、効果的な板書、個への支援の方法など、基本的な指導技術を身に付けている。
 - 学習指導案の流れにふさわしい学習の場や教材・教具を整えることができる。
- (10) 学習の基盤づくり
 - 学級経営の重要性を理解し、自ら規範的態度を子どもたちに示しながら、子どもたちを指導できる。
 - 生徒指導や教育相談、特別支援教育、学習環境づくりなどの基本的な内容を理解している。

【探究心】

- (11) 授業実践の研究
 - 自己の授業実践を適切に振り返り、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
 - 他者の授業実践から効果的に学び、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
- (12) 専門的知識
 - 高い水準の専門知識と幅広い教養を備えている。
 - 専門知識を深めようとする意欲が高い。
 - 専門知識を教育実践に活用することができる。

香川大学 教育実習 評価の観点（中学校版）

※附属学校においては、より詳細な評価観点によって評価が行われます。

【教職への使命】

- (1) 教職の理解
 - 教職の意義・重要性（個人情報管理など含む）を理解し、使命感・責任感を自覚している。
 - 中学校教諭に求められる倫理観や道徳観を身に付けている。
- (2) 教職について学ぶ姿勢
 - 教育実習全般において、主体的にかつ謙虚に学ぼうとする姿勢を身に付けている。
 - 子どもの状況を把握し、子どものよさや可能性を引き出すために、積極的に子どもと関わっている。

【対人能力】

- (3) コミュニケーション能力
 - 管理職をはじめとする教職員と十分なコミュニケーションをとることができる。
 - 豊かな包容力と判断力をもって、子どもと適切なコミュニケーションをとることができる。（多様なアドバイス、適切なほめ方・叱り方など）
- (4) 協働性
 - 学校組織の一員（実習生間協働を含む）として、協力的態度で、多様な状況に対応できる。
 - 基本的な職務遂行能力を身に付けている。（時間の有効活用、期限内処理、要領・段取り、迅速さ・正確さ、など）
- (5) 社会人としての基本
 - 社会人また教師にふさわしい基本的マナー（服装・態度・言葉遣いや、礼儀作法、など）を身に付けている。

【子ども理解】

- (6) 子ども理解のための知識や技能
 - 子どもの成長や発達について深く理解している。
 - 状況の中で課題を的確に掴むための観察力を身に付けている。
- (7) 子どもへの公平かつ受容的対応
 - 子どもの内面を理解し、信頼関係を築くための判断力を身に付けている。
 - 様々なタイプの子どもの適切な言動をもって関わろうとする姿勢を身に付けている。

【指導力】

- (8) 指導内容の研究
 - 学習指導要領の内容を理解し、子どもの状況を踏まえた教材研究を遂行できる。
 - 学習内容と方法を組み合わせて、効果的な学習指導案を作成できる。
- (9) 指導技術の習得
 - 適切な発問と応答、効果的な板書、個への支援の方法など、基本的な指導技術を身に付けている。
 - 学習指導案の流れにふさわしい学習の場や教材・教具を整えることができる。
- (10) 学習の基盤づくり
 - 学級経営の重要性を理解し、学活や清掃活動など多様な集団行動場で、自ら規範的態度を子どもたちに示しながら、子どもたちを指導できる。
 - 生徒指導や教育相談、特別支援教育、学習環境づくりなどの基本的な内容を理解している。

【探究心】

- (11) 授業実践の研究
 - 自己の授業実践を適切に振り返り、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
 - 他者の授業実践から効果的に学び、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
- (12) 専門的知識
 - 教科に関する高い水準の専門知識と幅広い教養を備えている。
 - 専門知識を深めようとする意欲が高い。
 - 専門知識を教育実践に活用することができる。

香川大学 教育実習 評価の観点（特別支援学校版）

※附属学校においては、より詳細な評価観点によって評価が行われます。

【教職への使命】

- (1) 教職の理解
 - 教職の意義・重要性（個人情報管理など含む）を理解し、使命感・責任感を自覚している。
 - 教師に求められる倫理観や道德観を身に付けている。
- (2) 教職について学ぶ姿勢
 - 教育実習全般において、主体的にかつ謙虚に学ぼうとする姿勢を身に付けている。
 - 子どもの状況を把握し、子どものよさや可能性を引き出すために、積極的に子どもと関わっている。

【対人能力】

- (3) コミュニケーション能力
 - 管理職をはじめとする教職員と十分なコミュニケーションをとることができる。
 - 特別支援の知見を背景に、子どもと適切なコミュニケーションをとることができる。（多様なアドバイス、適切なほめ方・注意の与え方など）
- (4) 協働性
 - 学校組織の一員（実習生間協働を含む）として、協力的態度で、多様な状況に対応できる。
 - 基本的な職務遂行能力を身に付けている。（時間の有効活用、期限内処理、要領・段取り、迅速さ・正確さ、など）
- (5) 社会人としての基本
 - 社会人また教師にふさわしい基本的マナー（服装・態度・言葉遣いや、礼儀作法、など）を身に付けている。

【子ども理解】

- (6) 子ども理解のための知識や技能
 - 子どもの成長や発達について、特別支援の知見を含めて、深く理解している。
 - 一人ひとりの子どもの実態を把握し、的確な個人指導記録を記述できる。
- (7) 子どもへの公平かつ受容的対応
 - 子どもの言外の行動を読み取り、内面を理解しようとする姿勢を身に付けている。
 - 様々なタイプの子どもの誠実に適応的に関わろうとする姿勢を身に付けている。

【指導力】

- (8) 指導内容の研究
 - 学習指導要領の内容を理解し、子どもの状況を踏まえた教材研究を遂行できる。
 - 子どもにふさわしい題材、目標を選択し、効果的な学習指導案を作成できる。
- (9) 指導技術の習得
 - 意図の明確な課題提示、教材・教具の工夫と活用、適切な発問と応答、声の大きさや間合い、援助活動の細かな配慮、学習成果の確認など、基本的な指導技術を身に付けている。
 - T1・T2などの役割を理解し、子どもの実態に沿って指導できる。
- (10) 学習の基盤づくり
 - 子どもの実態に応じた子どもの管理（生活習慣づくり・学習態勢づくり、給食・清掃指導など）について理解している。
 - 子どもの実態にふさわしい学習環境の整えることができる。

【探究心】

- (11) 授業実践の研究
 - 自己の授業実践を適切に振り返り、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
 - 他者の授業実践から効果的に学び、自己の授業力を高めようとする姿勢を身に付けている。
- (12) 専門的知識
 - 高い水準の専門知識と幅広い教養を備えている。
 - 専門知識を深めようとする意欲が高い。
 - 専門知識を教育実践に活用することができる。

教育実習の評価基準

香川大学教育学部は、学士課程の資質保証の取り組みの一環として、平成23年5月に教育実習の評価の観点と評価指針を策定しました。学生諸君においては、大学における学び、教育実習期間中の学びの参考とし、「力のある教師」に成長する基盤を培ってほしいと願っています。

教育実習は、教員養成カリキュラムの中核となる授業です。大学における多様な学びを総合し、学校現場で様々な教育実践を行います。多様な関わりの中で、自らの実践を省察し、実践的指導力の礎を培っていきます。子どもたちの前に教師として立つにあたり、高い意欲と志、教育に関わる基本的な知識・理解を十分に身に付けていることが求められます。

教育実習の評価に関しては、教育実習におけるすべての活動を対象として、「教職への使命」「対人能力」「子ども理解」「指導力」「探究心」の大区分による評価の観点を採用します。

教育実習は無遅刻無欠席であることが求められます。教育実習期間中の出席日数が必要日数の4／5未満である学生には、単位認定することはできません。

また下記の4条件を単位認定のための最低到達基準とします。（シラバスを参照すること）

- ① 教師として最低限必要な倫理観や道徳観を身に付けている。
- ② 子どもとコミュニケーションをとることができる。
- ③ 実地指導に基づいて1時間の学習指導案（幼稚園：1つの活動指導案）を立案できる。
- ④ 1時間の授業（幼稚園：1つの活動の指導）（公開・採点）を遂行できる。

教育実習の評価指針 (評価基準の例示)

	レベル0 (教師としての資質能力の 基盤に欠けている)	レベル1 (教師としての資質能力の 基盤を有している)	レベル2 (教師としての資質能力を 有している)	レベル3 (教師としての優れた 資質能力を有している)	レベル4 (教師としての非常に優れた 資質能力を有している)
【教職への使命】	教職への使命感に欠け、 教師として不適切な言動が 目立つ。	教職の重要性の理解・ 教師としての最低限の 倫理観はあるが、言動に 不十分なところがある。	教職の重要性の理解・ 教師としての倫理観を有し、 教職について学ぼうとする 姿勢がある。	教職への高い使命感をもち、 教職について積極的に 学ぼうとしている。	教職への高い使命感をもち、 積極的に学び、学校や 子どもの実態についての確に 把握しようとしている。
【対人能力】	社会人として基本的なマナー に欠け、職務の期限内処理 など最低限の仕事を行 うことができない。	社会人として基本的なマナー を有し、職務の期限内処理 など最低限の仕事を行 うことができる。	管理職をはじめとした教職員 と協力的態度で関わろうと するとともに、子どもたちと コミュニケーションをとる 姿勢を身につけている。	管理職をはじめとした教職員 と協働できるとともに、 子どもたちと コミュニケーションをとる 姿勢を身につけている。	管理職をはじめとした 教職員と協働できると ともに、子どもたちと適切な コミュニケーションをとる ことができる。
【子ども理解】	子ども理解のための知識に 欠け、子どもの内面を 理解しようとする意識が 断片的・一方的な 子ども理解に終始する。	子ども理解のための知識を 有し、子どもの内面を 理解しようとする姿勢を 持っている。	子ども理解のための知識を 有し、子どもの内面を 理解し、誠実に関わろうする 姿勢を持っている。	子ども理解のための知識を 有し、子どもの内面を 理解し、公正かつ誠実に 関わろうとしている。	子ども理解のための知識を 有し、子どもの内面を 理解し、的確な判断力をも って、公正かつ誠実に 関わろうとしている。
【指導力】	学習指導要領など教育内容 の理解が不十分であり、十分 な指導案を作成できない。 一つの授業を遂行できない。	一つの授業の指導案を 作成でき、かつ授業を 遂行することができる。	的確な教材研究に基づいて 指導案を作成でき、かつ 一つの授業を遂行すること ができる。	的確な指導案に基づいて 一つの授業を遂行できる。 また学級経営など多様な 場面で子どもを指導する 資質を有している。	的確な指導案に基づいて 効果的に一つの授業を遂行 できる。また学級経営など 多様な場面で子どもを指導 できる資質を有している。
【探究心】	自己の授業力を高めようと する姿勢が見られない。	最低限の専門的知識と 教養を有している。 また自己の授業力を 高めようとする姿勢を 有している。	一般的なレベルの専門的知識 と教養を有している。 また自己の授業力を 高めようとする姿勢を 有している。	自己の授業力を高めようと 努力するとともに、自らの 有する専門知識と教養を 教育実践場面に活用できる。	自己の授業力を高めようと 努力するとともに、自らの 有する専門知識と教養を 多様な教育実践場面に 活用できる。

※附属学校園においてはさらに多様な基準により評価が行われます。